

小規模電力自動検針システム

<導入事例 鎌倉市編>

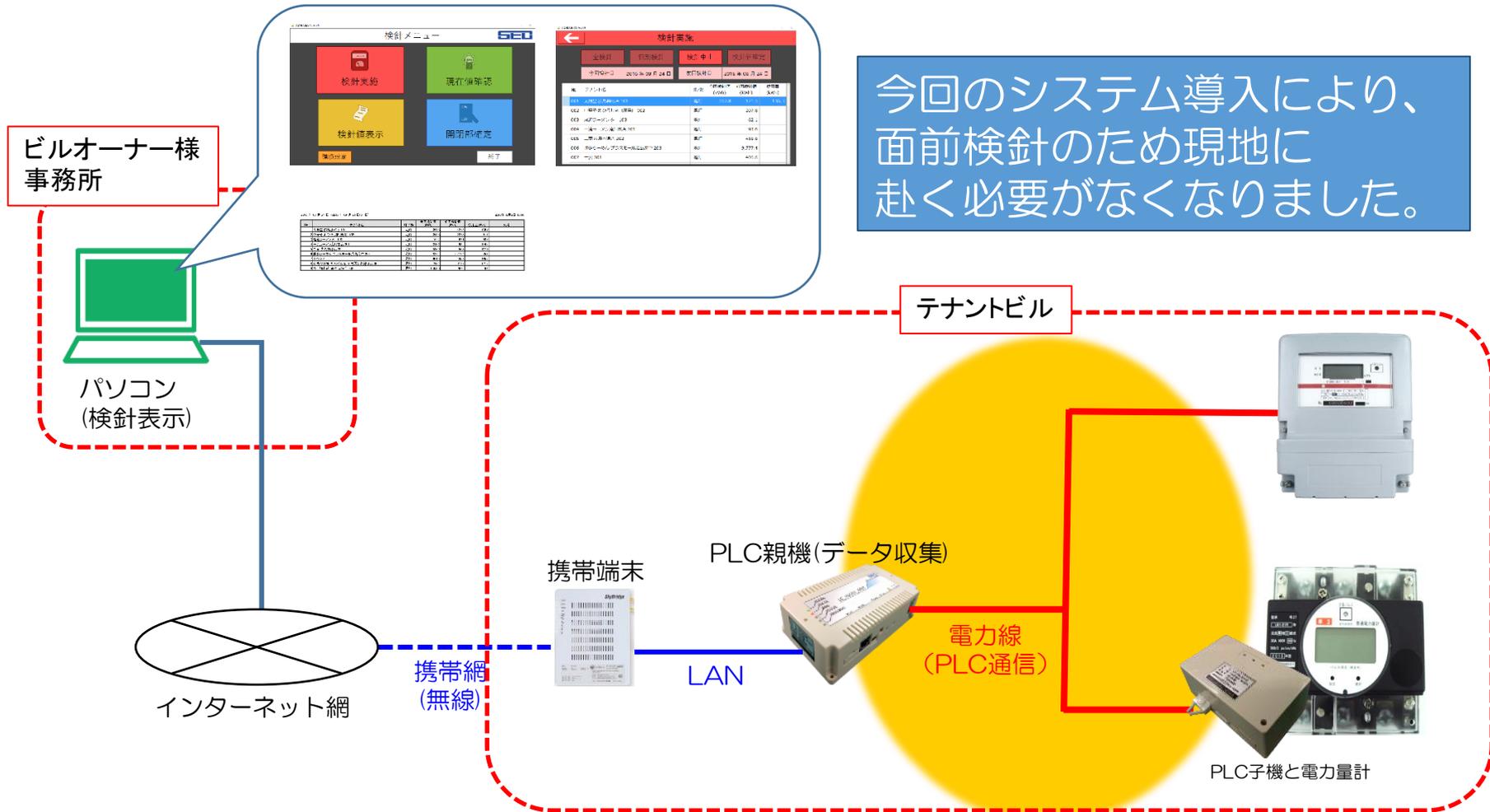
shaping your thoughts.
お客様の声をかたちにします。

①導入までの流れ



②電力量計検針イメージ

パソコンからインターネット網を使用し、遠隔でPLC親機と接続します。
パソコンでは専用のアプリを使用して電力量計データを収集し、保存します。



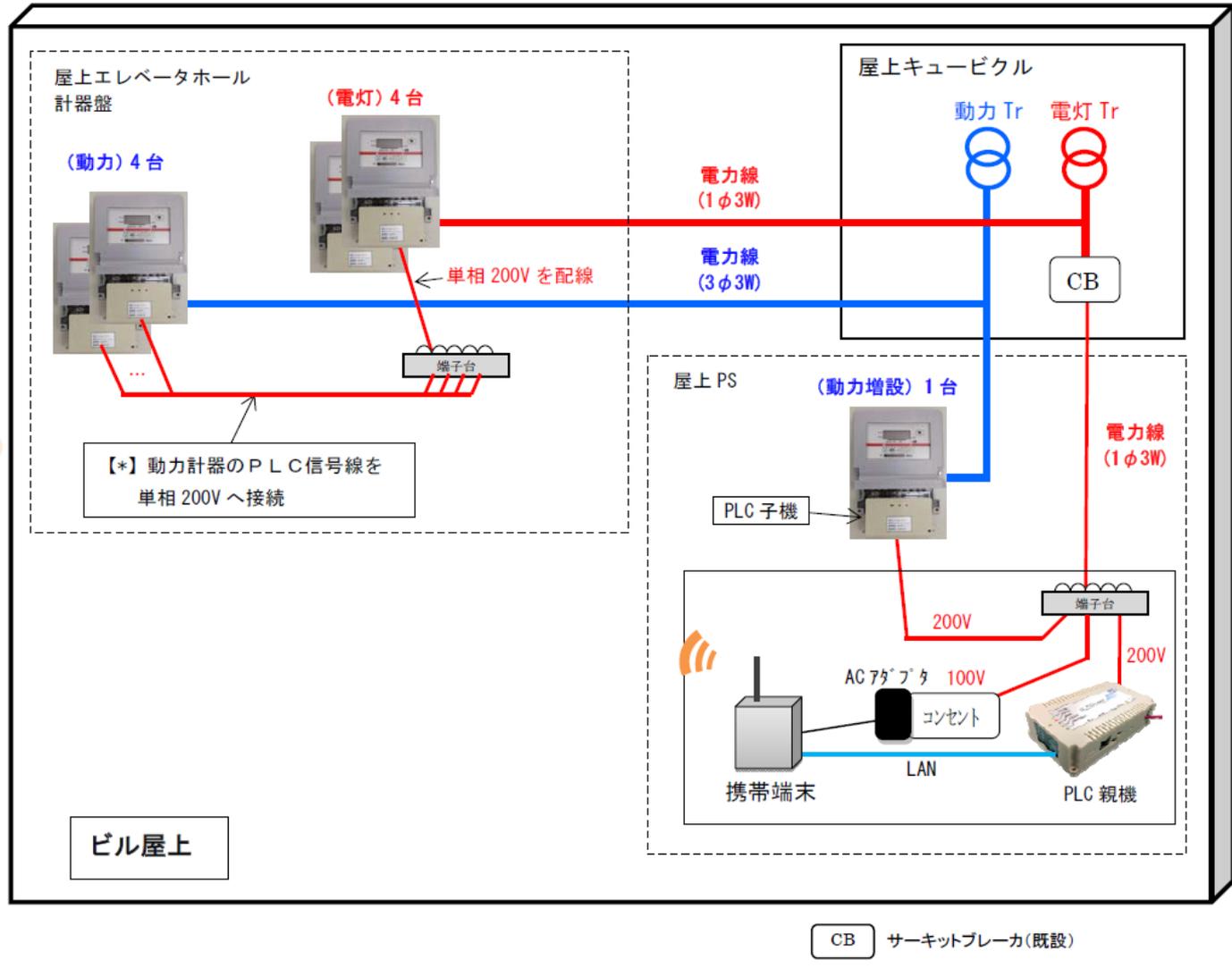
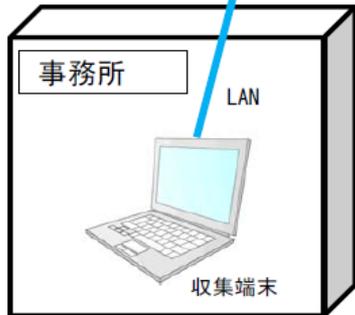
③システム構成

【鎌倉テナントビル】

- ・地上3階建て小規模ビル
- ・1フロア1テナント
- ・電灯メータ (4台)
- ・動力メータ (5台)

携帯通信網

インターネット網



④導入設置機器内訳

<電力量計>

電力量計種別	型式	容量	台数	備考
表面取付形	U21-R	単相3線式100V 120A	4	取扱説明書付属
表面取付形	U31-R	三相3線式200V 120A	5	取扱説明書付属

<その他機器>

製品名	用途	数量	備考
PLC親機	電力量計に取り付けた子機と通信を行い、検針データを収集する装置	1	取扱説明書、検針アプリ付属
PLC子機	各電力量計に取り付け、指示値を取得し30分データを保持する	9	取扱説明書付属
パソコン	PLC親機とLANで接続し、検針データを収集するためのアプリ用として使用	1	検針用パソコン ※ユーザ様でご準備 ※設置ビルではなく、 オーナー様のオフィス
携帯端末	パソコンとPLC親機を遠隔で接続するための装置	1	既製品購入 ACアダプタ、アンテナ付属 ※ユーザ様で別途SIM契約が必要

⑤導入場所

鎌倉市内のテナントビル(写真は屋上)

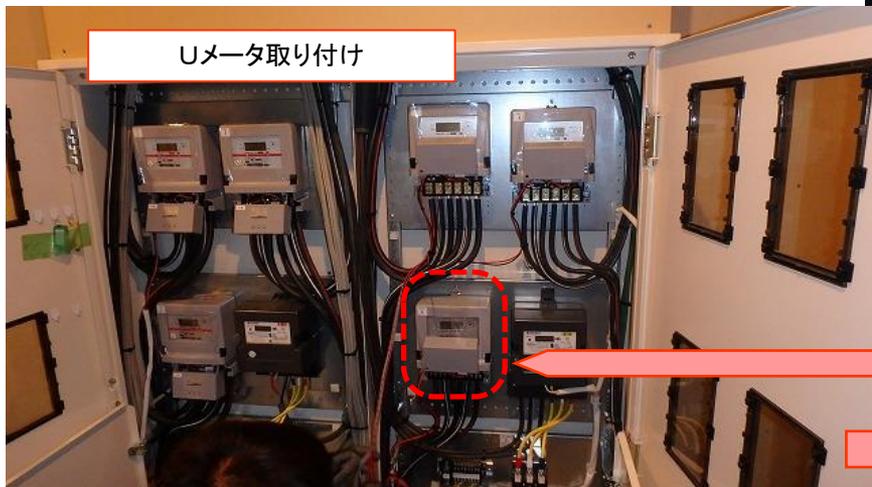


⑥設置風景 その1 (屋上&電気室)



↑トランス交換もあり、深夜の作業となりました。

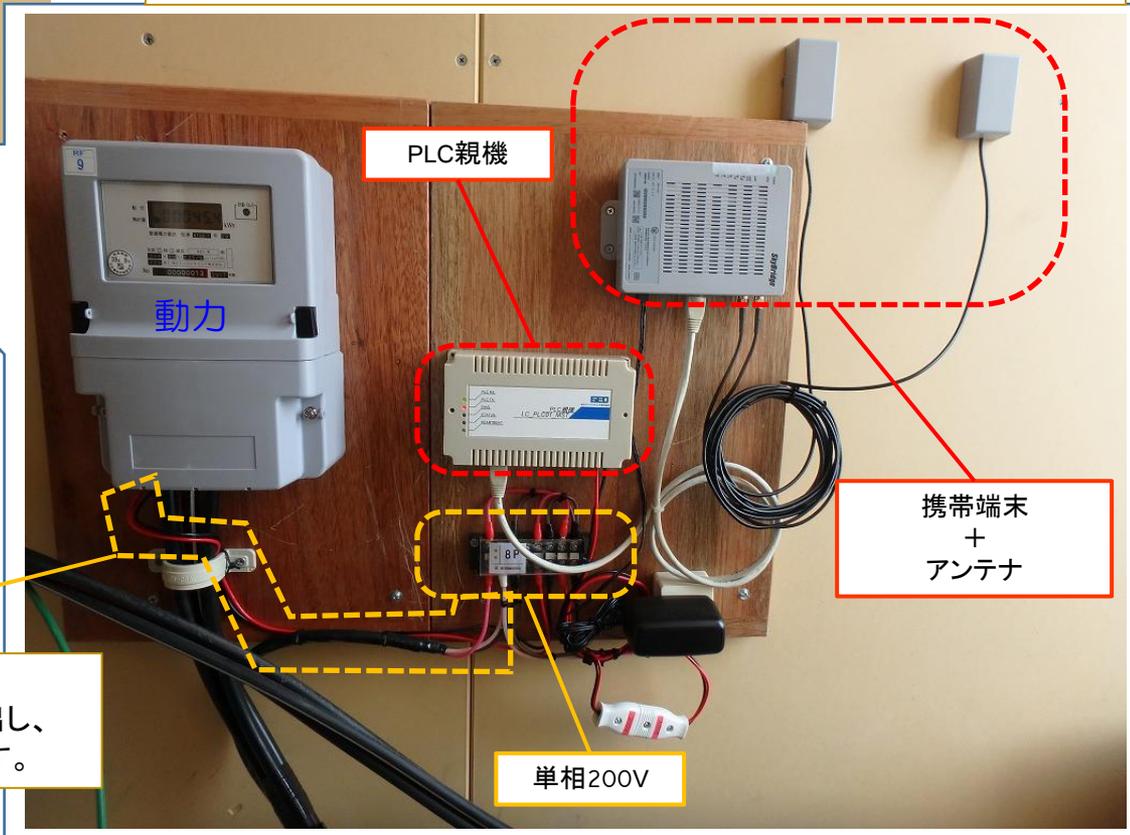
既設メータを取り外し、配線はそのまま
Uメータを設置可能です→



⑦設置風景 その2（親機、Uメータ、携帯端末設置）



PLC親機と携帯端末を接続し、遠隔で検針が出来るようにしています。



動力システムのPLC信号は、電波法上、動力ラインへ接続できないため端子台に引き出し、電灯メータの単相200Vに配線し接続しています。

単相200V